

News Release

2025年2月25日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2025 年 2 月 6 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

持続可能な吸音: 製品カーボンフットプリント(PCF)を低減した世界初の 高品質メラミン樹脂フォーム

- 新しい Basotect® EcoBalanced は、各標準グレードと比較して、製品カーボンフットプリント(PCF)を最大 50%削減
- 100%グリーン電力で製造
- 化石由来の原料を廃棄物由来の再生可能な代替原料に置き換え、認証されたバイオマスバランス・アプローチによって製品に割り当て
- 再生可能な原料の使用拡大と PCF の排出量を削減し、輸送および建設業界をサポート

世界初のメラミンフォームメーカーである BASF(本社:ドイツルートヴィヒスハーフェン)は、輸送や建築・建設業界における多くの吸音用途において、製品カーボンフットプリント(PCF)の削減に貢献する Basotect® EcoBalanced を発表しました。Basotect® EcoBalanced は、サステナビリティの 2 つの要素から、BASF の各標準グレードと比較して PCF (1)を最大 50%低減しています。まず、100%グリーン電力を使用した資源効率の高いプロセスで製造されています。さらに、製造に必要な化石原料は、製造の初期段階で再生可能な原料に置き換えられています。この再生可能な原料は有機廃棄物や残渣バイオマスに由来し、REDcert2 および ISCC PLUS (2)に従って認証されたマスバランス・アプローチによって、Basotect®グレードに割り当てられます。そのため、Basotect® EcoBalanced は化石資源の使用削減に貢献します。ま

た、BASF は信頼性の高い PCF データを提供することで、お客様に透明性を提供し、各社の自社製品の評価とサステナビリティ目標達成を支援します。

例えば Basotect® G+などの、市場に流通している他のメラミン樹脂フォームと比較すると、EcoBalanced は PCF が 3 分の 2 以上低くなっています (9kg/m³)。また、PET フリース (30kg/m³) のような代替断熱材と比較しても、排出量を大幅に削減できます。こうしたサステナビリティの利点に加え、Basotect® EcoBalanced は、導入が容易なドロップインソリューションとなっています。加えて、各標準グレードと同等の材料性能を示します。エンジンカバー、壁や天井の吸音材、HVAC (暖房、換気、空調) 部品、空気清浄機などのメーカーにおいて、既存の製造工程を変更したり、新しい加工ラインに追加投資したりする必要はありません。こうした用途に Basotect® EcoBalanced を使用した製品の大半は、再認証の必要もありません。

BASF の Basotect® グローバルビジネスマネジメント責任者であるタレック・アブザールは、次のように述べています。「当社の Basotect® EcoBalanced は、市場で最も PCF の低いメラミン樹脂フォームです。これにより、当社のお客様はネットゼロ目標に向けた決定的な一歩を踏み出すことができるようになります。Basotect® EcoBalanced は、従来の Basotect® と同等の高い品質が確保されています。同時に、サステナビリティの利点によって競合製品との差別化を図り、化石資源の消費と温室効果ガス (GHG) 排出の削減に貢献します。」

BASF は、メラミン樹脂フォームの排出データを透明化した最初の企業です。これによってお客様は、輸送業界や建設業界といった世界規模の排出削減に重要な役割を果たす産業において、自社製品の CO₂ 排出量をよりの確に測定し、削減することができます。

信頼性の高い算出方法と第三者認証で実証された低 PCF

BASF は、Basotect® を含む 45,000 の販売製品の Cradle-to-gate (ゆりかごからゲートまで) の PCF を算出するためのデジタルアプリケーションを開発しました。PCF には、原材料の購入から、生産工程における作業やエネルギーの使用による排出まで、BASF 製品が工場のゲートを出るまでに発生する、製品関連のすべての温室効果ガス排出量が含まれます。PCF を削減する方法としては、生産工程におけるグリーン電力の使用や、バイオマスバランス・アプローチによる再生可能な原料の割り当てなど

があります。なお、バイオマスバランス・アプローチでは、製造の最初の段階で化石原料をバイオマス由来の資源に置き換え、再生可能な原料の量を、第三者機関によって認証された方法で、製造工程の最後に特定の製品に割り当てます。そして、お客様が購入するバイオマスバランス製品において、BASF が REDcert² および ISCC PLUS の要件に基づき、必要な量の化石原料を再生可能な原料に置き換えていることを、独立した認証機関が確認します。

詳細情報: <https://www.basotect.basf.com/ecobalanced> (英語)

(1) BASF の従来製品における製品カーボンフットプリント(PCF)の算出は、ISO 14067:2018 の要件およびガイダンスに準拠しています。テュフラインランドは手法の審査において、BASF SE が開発し使用している PCF 算出ツール(SCOTT)が科学的根拠に基づいており、ISO 14067:2018 および Together for Sustainability PCF ポリシーに準拠し、最新の状況を反映していると認定しました(ID no. 0000080389: BASF SE - Certipedia)。また、テュフラインランドは、バイオマスバランス(BMB)PCF 算出方法および BMB 認証製品に関連する PCF 削減量が、ISO 14067 および Together for Sustainability(TFS)ポリシーに基づき、従来の LCA 手法に準拠していることも証明しています。

(2) REDcert² および ISCC PLUS は、化学工業における持続可能なバイオマスの資源利用のための持続可能性認証スキームになります。これらの認証スキームに基づく認証は、使用されるバイオマスが持続可能であり、必要な量が生産システムに投入されていることを確認するものです。また、持続可能なバイオマスが、対応する販売製品に正しく割り当てられていることも確認します。認証は、独立した監査員による現地監査に基づき付与されます。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追究しています。また、全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2023 年の BASF の売上高は 689 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。

BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com/global/en> をご覧ください。

■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、プラスチックに求められる持続可能性への変革の最前線にいます。BASF の製品は、トランスポーターション、消費財、インダストリアルアプリケーション、建築・建設という 4 つの主要産業分野にイノベーションをもたらすため、世界中のお客様と共同で開発をすすめています。私たちの研究開発は、プラスチックに関するすべての工程(プラスチックジャーニー)である MAKE(製造)、USE(使用)、RECYCLE(リサイクル)に焦点を当てています。製造段階では、製品の設計から原材料の選択、製造工程に至るまで、プラスチックの製造方法を改善します。使用段階では、軽量性、堅牢性、耐熱性といったプラスチックの強みを強化します。製品のライフサイクルの終段には、循環型経済を実現するためにどのようにプラスチックジャーニーを終了させるかを検討する「リサイクル」段階があります。2023 年、パフォーマンスマテリアルズ部門の世界売上高は 72 億ユーロを達成しました。

詳しい情報は、<https://www.performance-materials.basf.com> をご覧ください。